

	号外	定価 1部2円	給与制度の総合的見直しに対する「反対署名」最終集約は今月末。一人5筆の署名に全力を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	

**春闘情報 - ⑨**

給与制度総合的見直し「反対」

**人事委員会へ要請書を提出**

**夏季休暇 5日に拡大！**

地公共闘（議長：豊巻浩也・岩教組委員長）は7日、賃金水準の引き下げにつながる給与制度の総合的見直しを行わないよう求める熊谷人事委員長あての要請書を佐藤人事委員会事務局長に提出し、現時点での見解を質した。

これに対し佐藤事務局長は、今回の要請を踏まえながら、全人連や他県の動向を注視していく考えを示した。

また、夏季休暇の増日について、「来年度から5日間に拡大（現行4日間）する」ことを確認。長年の要求が実を結んだ。（佐藤事務局長の回答詳細は以下のとおり）



地公共闘 4 役（右側）と佐藤人事委員会事務局長（左）

**給与制度の総合的見直し 反対！**

人事院は、民間給与の適正な反映について、2012人事院勧告では『所期の目的を達した』としながらも、昨年8月に総合的見直しの報告を行ったものだが、手法も含めて明らかになっておらず、私どもとしても内容を理解できていない。全国人事委員会連合会（全人連）や他県との意見交換の場は多く持っており、情報収集に努めていく。皆さんからの要請は、13日の委員会でも報告させていただく。

**夏季休暇の増日**

組合からの増日要求に対しては、検討する旨お話してきたが、人事当局からも要請があり、人事委員と協議してきた。昨日（6日）の委員会で、来年度から5日に増日（現行4日）することを決定した。4月1日からの施行となる。

総合的見直し  
反対「要請署名」

# 一人5筆を集めきろう

## 恣意的見直しにNOを！ 最終集約日は今月末

給与制度の総合的見直しのうち「地域間配分の見直し」は、これまで人事院自らが官民比較調査した給与水準を、厚労省が行っている賃金構造基本統計調査における給与水準の下位12県を新たな比較水準として突然持ち出し、その水準が公務員給与よりも2～3%低いと主張しながら、公務員給与の引き下げを行おうとするものだ。また、官民の人事管理の仕組みの違いを放置したまま、民間よりも給与水準の高い高齢層の給与を引き下げようとする「世代間配分の見直し」や、技能労務職員の給与を、非正規労働者も多く含まれる民間の運転手の給与水準まで引き下げようとする「技能労務職員給与の見直し」など、これまで用いてきた比較方法を、公務員給与を引き下げるための比較方法へと恣意的に変えようとしており、いずれも断じて認められない内容だ。

県職労は、自治労本部・公務員連絡会とともに、給与制度の総合的見直しに反対する「要請署名」を取り組み、現時点での集約分を、去る3月5日に行われた公務員連絡会主催の北海道・東北ブロック上京行動の際に人事院へ提出したが、県職労の署名集約数は、3,680筆に止まっており、自治労全体で見ても集約数の少ない県の1つとなっている。人事委員会調査では岩手県職員給与の公民較差は「均衡している」とされており、いわれのない新たな比較方法を持ち出して、更なる給与削減を行おうとする政府・人事院に、私たち地方からNO！を突き付けていかなければ、強硬姿勢に歯止めはかけられない。

署名の最終集約日は今月末となっている。1人5筆の署名集約を確実に達成していくためにも、もう一度署名の取り組みを徹底しよう。職場内だけでなく、家族・知人など幅広い取り組みへと発展させ、総合的見直し反対の大きなうねりを築いていこう！



## 佐藤いくお さん 奥州市議選 2選果たす

9日に投開票の行われた奥州市議会議員選挙において、県職労が推薦した「佐藤いくお」さん（現職・旧江刺市職労元委員長）は、2,711票を獲得し、見事2選を果たしました。組合員の皆様のご支援に感謝いたします。

次は… **遠藤譲一** (じょうじ) さん

久慈市長選挙 (3月16日投開票)

久慈市長選挙が昨日9日に告示されました。県職労は2月22日の中央執行委員会において、現在、退職者会久慈支部長を務めている「遠藤譲一」さんの推薦を決定しています。

平和行政・労働者行政の推進を掲げる遠藤さんについて、知人・友人へもお声がけを！